教科	地歴公民科	科目	現代社会	単位数	3

学年	3	科	普通	専攻・コース	大学進学専攻

教科書	新現代社会（第一学習社）	副教材	ニュービジョン現社（浜島書店）

学習到達目標	現代社会に対する基本的な知識を習得し、現代社会で起こっている様々な問題について理解を深める。また、良識ある公民としての必要な能力、態度を養成する。
評価の観点	定期テストの成績を主に、授業中の取り組む姿勢（発表・態度）などを総合して行う。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前	前期第1回定期試験	第１編　私たちの生きる社会 １　環境と私たちの生活 ①地球環境のいま ②私たちの地球を守るため ２　資源･エネルギー問題と私たちの生活 ①限りある資源 ②資源問題の解決をめざして ３　科学技術の発達と私たちの生命 ①科学技術の発達と生命 ②生命倫理をめぐる問題	地球規模の環境問題の解決の方法を探る エネルギー資源について、分布や可採年数から考えさせる 原子力発電が増進された理由と、その課題、また、新エネルギーへの取り組みについて考えさせる 生命に関わる課題を、自己の生き方と関連させ、考察する	
	前期第2回定期試験	４　高度情報化社会と私たちの生活 ①情報の高度化の進展 ②高度情報化社会の課題 第２編　現代社会と人間としてのあり方、生き方 第１章　青年期と自己の形成 ①青年期とは ②青年期を充実させるために ③伝統や文化のかかわり	高度情報化社会におけるコミュニケーションのあり方や社会の変化について理解させる 青年期は自立や自律を図る重要な時期であることを理解し、自己形成の課題について学習する	

期		④祭りと年中行事 ⑤社会とのかかわり ⑥私たちの生きがい 第２章個人の尊重と法の支配 ①個人と国家 ②法の支配		
	前期末試験	③基本的人権の保障 ④世界の政治体制 第３章　現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と日本の安全保障 ③冷戦終結後の防衛問題 ④平等に生きる権利	日本国憲法の内容を理解し、平和主義・人権・国際貢献のあり方などについて学習する 世界の政治体制から、国民が民主政治の担い手であることを理解させ、政治に主体的に関わる意識をもたせる	
	後期第1回定期試験	⑤自由に生きる権利 ⑥豊かに生きる権利 ⑦新しい人権 ⑧基本的人権と公共の福祉 ⑨国会の運営と権限 ⑩内閣と行政の民主化 ⑪裁判所と人権保障 ⑫地方自治と住民の福祉 ⑬選挙制度の現状と課題 ⑭世論の形成と政治参加 第４章　国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割と課題	現代の日本においても多くの偏見や差別、不平等が存在しており、その解決に向けて努力しなければならないことを理解させる 基本的人権と公共の福祉に関する事例について、望ましい解決策を考えさせる 国会・内閣の構成や権限を確認しながら、行政の活動分野が拡大している現状について理解させる 民主政治における選挙の意義を理解し、選挙権を大切に行使する心を養う	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
	後期第2回定期	③第２次世界大戦後の国際社会 ④冷戦終結後の国際社会 ⑤核兵器の廃絶と国際平和 ⑥地域紛争と人種・民族	冷戦の対立構造や、米ソの代理戦争として様々な局地紛争が発生したことを理解させる 核拡散を防ぐために、信頼関係を構築する努力が必要であることを理解させる 地域紛争の背景にある要因を理解し、	

後期	試験	問題 ⑦国境と領土問題 ⑧日本の役割と私たちの生き方 第５章　現代の経済社会と私たちの生活 ①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤国民所得と私たちの生活 ⑥景気変動と物価の動き ⑦財政のしくみと税金 ⑧日本の財政の課題 ⑩金融機関のはたらき	解決のために必要なことを理解させる 身近な例から経済とは何かを考えさせ、財やサービスといった経済用語に親しみをもたせる 市場経済と計画経済の特徴を理解させる 市場の役割や、寡占市場の特徴と独占禁止法の役割について理解させる 財政と金融のしくみを理解させる	

教科	理科	科目	理科課題研究	単位数	3

学年	3	科	普通	専攻・コース	大学進学

教科書	高等学校生物基礎(第一学習社) 地学基礎(数研出版)	副教材	セミナー生物基礎(第一学習社) 改訂版リードα　地学基礎(数研出版)

学習到達目標	授業内で行う演習を通してセンター試験に対応できる学力を身に付ける。
評価の観点	①授業に積極的に取り組めているか。 ②学習内容に関する知識・技能が身についているか。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期～後期	前期第一回定期試験～学年末定期試験	・生物基礎、地学基礎のセンター試験、外部模試の過去問、センター試験対策問題集の演習、解説を通して頻出問題の解法を身に付ける。 ・生物基礎、地学基礎の演習を交互に行う。	・授業中の解説を聞き、板書をきちんと写している。 ・演習を行った問題の内容が定着している。 ・演習した問題の類似問題を自力で解くことができる。 ・これまでの既習事項の知識を用いて新たな問題を自ら解くことができる。	

教科	地歴公民	科目	日本史Ｂ	単位数	５単位

学年	３年	科	普通科	専攻・コース	大学進学コース

教科書	山川出版社 詳説　日本史Ｂ	副教材	帝国書院　図説　日本史通覧

学習到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
評価の観点	◇平常の授業に取り組む姿勢、定期考査の結果、課題やレポートなどの提出物の状況を総合的に判断し、尚かつシラバスに記載した評価の観点に即して総合的に判断する。 ◇授業への取り組む姿勢は、授業態度、ノート提出、発表の状況などを評価の対象とする。 ◇課題やレポートなどの提出物では、提出期日や分量を守れたか、自分の視点で考察できたか、丁寧に書くことができたか等を主な判断基準とする。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前	前期第１回定期試験	**第Ⅲ部　近世** **第６章　幕藩体制の確立** １．織豊政権 ２．桃山文化 ３．幕藩体制の成立 ４．幕藩社会の構造	**第Ⅲ部　近世** **第６章　幕藩体制の確立** １．織豊政権 ＊大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ＊織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 ＊新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ＊江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ＊江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 ＊幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。	

期	前期第2回定期試験	**第７章　幕藩体制の展開** １．幕政の安定 ２．経済の発展 ３．元禄文化	＊17 世紀後半から 18 世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ＊幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ＊経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	
	前期末試験	**第８章　幕藩体制の動揺** １．幕政の改革 ２．宝暦・天明期の文化 ３.幕府の衰退と近代への道 ４．化政文化	＊農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。＊平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ＊欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。 ＊近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。 ＊化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
	後期第1回定期試験	**第10章　二つの世界大戦とアジア** １.第一次世界大戦と日本 ２．ワシントン体制	＊第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ＊第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 ＊ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ＊民主主義的風潮による社会運動の動向を理解すると共に、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。	

後		４．恐慌の時代 ５．軍部の台頭	＊戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ＊社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。 ＊日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ＊恐慌から脱出し、国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	
	学年末試験	６．第二次世界大戦 **第11章　占領下の日本** １．占領と改革 ２．冷戦の開始と講和	＊日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ＊第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。 ＊戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ＊戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。 ＊東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ＊連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する	

教科	地歴公民	科目	世界史Ｂ	単位数	5

学年	3	科	普通科	専攻・コース	大学進学

教科書	詳説世界史	副教材	アカデミア世界史

学習到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察出来るようにする。
評価の観点	①歴史的事象に対する興味があるか。②歴史的事象から課題を見出し、多面的な考察ができるか。③歴史的な事象に関する資料を効果的に活用できるか。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	第Ⅲ部 第７章　アジア諸地域の繁栄 第８章　近世ヨーロッパの形成	・明・清帝国、イスラム世界の動向を扱い、16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域の特質を理解させる。 ・ルネサンス、宗教改革、新航路の開拓、主権国家体制の成立を扱い、16 世紀から 18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の特質を理解させる。	
	前期第2回定期試験	第９章　近世ヨーロッパ世界の展開 第 10 章　近代ヨーロッパアメリカ世界の成立	・ヨーロッパ諸国の海外進出と 17・18 世紀の文化にふれる。 ・産業革命、フランス革命、アメリカ独立革命を扱い、ヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革について理解する。	
	前期末試験	第 11 章　欧米における近代国民国家の発展 第 12 章　アジア諸地域の動揺	・ウィーン体制とその後のヨーロッパの再編・変化を理解させる。 ・オスマン帝国支配の動揺と南アジア、東南アジアの植民地化、東アジアの激動を扱い、19 世紀のアジアとヨーロッパの関係を理解させる。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	第Ⅳ部 第 13 章　帝国主義とアジアの民族運動 第 14 章　二つの世界大戦	・帝国主義と世界分割、さらに列強の対立を扱い、それに対するアジア諸国の改革と民族運動を理解させる。 ・二つの世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制を扱い、20 世紀前半の世界の動向と社会の特質を理解させる。	
	後期第2回定期試験			
	学年末試験	第 15 章　冷戦と第三世界の成立 第 16 章　現代の世界	・米ソ冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と紛争、平和共存の模索と多極化の進展を扱い、冷戦期の世界の動向を理解させる。 ・東欧諸国の民主化と冷戦の終結、ソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展などを扱い、1970 年代以降の世界と日本の動向を理解させる。	

教 科 シ ラ バ ス

教 科 名	英　語	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	５単位
履修学年	高校部３学年	科・専攻・コース	普通科 大学進学専攻		
教 科 書	**LANDMARK English CommunicationⅢ**	副教材等	教科書準拠ワークブック、予習ノート、Next Stage （桐原書店）		

1. 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な態度を養う。具体的な言語活動は以下の通り。

１．事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

２．説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

３．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

４．聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

２．コミュニケーション英語Ⅲの評価の観点，規準及び評価方法

	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解している。
規準	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	情報や考えなどについて，英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて，英語で簡潔に書くことができる。	英語を聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点を捉えたりすることができる。 英語を読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点を捉えたりすることができる。	英語の仕組み，使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに，言語の背景にある文化を理解している。
評価	a. 授業に対する意欲　b. 発表　c. 課題等の提出　d. 小テスト・定期考査			

３．学習計画及び評価方法等

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	前期第1回定期試験	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug	<題材内容> ・身近な食べ物・飲み物の多くにカフェインが含まれていることを理解する。 ・カフェイン依存によるとリスクを理解する。 ・カフェインによる効能について聞く。 ・カフェインとの付き合い方について考え、意見交換する。	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a b c d
	5		Lesson 2 Blood Is Blood	<題材内容> ・当時の黒人差別の実態を理解する。 ・ドリューが発見した輸血方法について理解する。 ・黒人差別と闘うドリューの主張を理解する。 ・活動を通じてドリューが証明したことを理解する。 ・キング牧師について聞く。 ・他の高所得国と比べ日本の献血率が低い理由について意見交換をする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
			Lesson 3 Australia and its Creatures	<題材内容> ・オーストラリア独自の生態系について理解する。 ・特殊な生態系を作り出す 2 つの要因について理解する。 ・厳しい気候に生きる動物たちの習性について理解する。 ・自然あふれるオーストラリアの魅力について理解する。 ・カンガルーの特徴について聞く。 ・自分の町とシドニーとの気候の違いについて書く。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
	6	前期第2回定期試験	Lesson 4 The $100,000 Salt and Pepper Shaker	<題材内容> ・遊園地で買った品物を落としてしまった兄弟の気持ちを理解する。 ・新品の塩コショウ入れを渡してくれた店員の行動の意味を理解する。 ・店員の行動が遊園地に多大な利益をもたらすことになったことを理解する。 ・ウォルト・ディズニーについて聞く。	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a b c d

	7		Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain	<題材内容> ・バイリンガルの人は脳の構造が違うという論文の内容を理解する。 ・音に対する脳の反応を調べた実験内容を理解する。 ・2言語以上話せることが脳に与える良い影響について理解する。 ・バイリンガル能力は赤ん坊のときから育つことを理解する。 ・英語の特徴について聞く。 ・ヨーロッパの国々ではバイリンガルの割合が高い理由について意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
			Lesson 6 Communication without Words	<題材内容> ・コミュニケーションの 7 割をボディー・ランゲージが占めることを理解する。 ・ボディー・ランゲージは国や文化によって違うことを理解する。 ・海外の人と理解し合うためにはボディー・ランゲージを学ぶことが大切なことを理解する。 ・誤解を防ぐためにも自身のボディー・ランゲージを知ることが大切なことを理解する。 ・コミュニケーションにおける目の役割について聞く。 ・自分の comfortable zone について意見を交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

《課題・提出物等》ワークブックの問題などを課題として出す。

《前期仮評価の評価方法》

1．評価対象： a. 授業に対する意欲　b. 発表(内容・態度)　c. 課題等の提出(内容・態度)　d. 小テスト・定期考査

2．評価配分： a. 授業に対する意欲 30%　b. 発表 20%　c. 課題等の提出 20%　d. 小テスト・定期考査 30%

前期	8 9	前期末試験	Lesson 7 Political Correctness	<題材内容> ・差別や偏見のない用語を使うことが推奨されていることを理解する。 ・だれにも不快感を与えない用語を使うことの難しさについて理解する。 ・行き過ぎた用語制限に潜む問題を理解する。 ・正しい用語の使い方は次の世代にかかっていることを理解する。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を聞く。 ・ポリティカル・コレクトネスについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

			Lesson 8 Animal Math	<題材内容> ・動物には生来，数学的な能力が備わっていることを理解する。 ・イヌはボールまでの最短距離を計算できることが実験からわかったことを理解する。 ・霊長類は数の違いを理解していることが実験からわかったことを理解する。 ・動物は自然界で生き残るために数学を用いてきたことを理解する。 ・高い学習能力をもつ馬について聞く。 ・日常生活において数学が便利だと感じる場面について意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

《課題・提出物等》ワークブックの問題などを課題として出す。

《前期末評価の評価方法》

1．評価対象：　a. 授業に対する意欲　b. 発表(内容・態度)
c. 課題等の提出(内容・態度)　d. 小テスト・定期考査

2．評価配分：　a. 授業に対する意欲 30%　b. 発表 20%
c. 課題等の提出 20%　d. 小テスト・定期考査 30%

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
後期	10	後期第1回定期試験	Lesson 9 The Story of My Life	<題材内容> ・サリバン先生の教育方法について理解する。 ・「愛」について尋ねるヘレンの心情を理解する。 ・サリバン先生が教える「愛」について理解する。 ・「愛」を理解したヘレンの心情を理解する。 ・ヘレン・ケラーの功績について聞く。 ・「愛とは何か」という質問に対する答えについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
			Lesson 10 Extinction of Languages	<題材内容> ・世界で半数の言語が消滅の危機にさらされていることを理解する。 ・言語が消滅するスピードが年々早まっていることを理解する。 ・言語の消滅とはアイデンティティの消滅でもあることを理解する。 ・言語の消滅を防ぐために人々が行っている取り組みについて理解する。 ・アメリカの少数言語について聞く。 ・少数言語を守るべきかディスカッションを行う。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
	11		Lesson 11 Learning a First Culture	<題材内容> ・子どもたちは大人との接触によって社会性を身につけることを理解する。 ・社会性を身につけるまでの過程には，生まれついた文化が深く影響することを理解する。 ・日本，欧米，カルリ族の文化の違いについて理解する。 ・成長した子どもは文化を離れたコミュニケーションを図るようになることを理解する。 ・他人との物理的距離について聞く。 ・社会で生きていくために家庭や学校で学んだことについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
後期	12		Lesson 12 Light Pollution	<題材内容> ・人間は夜も活動できるように人工の光を生み出してきたことを理解する。 ・人工の光により，夜の暗さが失われてしまったことを理解する。 ・人工の光が鳥やウミガメの生態に影響を与えていることを理解する。 ・人工の光が人間の生体リズムにも影響を及ぼしていることを理解する。 ・夜空の星について聞く。 ・明るい夜と暗い夜のどちらを好むかについて意見交換する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a b c d
	1		センター試験対策	・センター試験過去問題・模擬問題にて実力錬成を行う。 （リスニング・語彙・文法・読解）	○	○	○	○	a b c d

《課題・提出物等》ワークブックの問題などを課題として出す。

《学年末の評価方法》

1．評価対象：　a. 授業に対する意欲　b. 発表(内容・態度)
　　c. 課題等の提出(内容・態度)　d. 小テスト・定期考査

2．評価配分：　a. 授業に対する意欲 30%　b. 発表 20%
　　c. 課題等の提出 20%　d. 小テスト・定期考査 30%

※年間を通してセンター試験過去問・模擬問題に継続的に取り組み，実力養成に継続的に取り組む。
上記及び関連内容を試験範囲として活用する。

英語表現Ⅱ　シラバスおよび評価規準（２単位×２学年の分割履修）

対象教科・科目	単位数	学年・学級
英語表現Ⅱ	４単位（２単位×２）	２年，３年

１　学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は次の通り。 ア　与えられた話題について，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ　主題を決め，様々な種類の文章を書く。 ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。また，発表されたものを聞いて，質問したり意見を述べたりする。 エ　多様な考え方ができる話題について，立場を決めて意見をまとめ，相手を説得するために意見を述べ合う。
使用教科書・副教材等	・Vision Quest　English Expression Ⅱ Ace（61 啓林館　英Ⅱ 322） ・ワークブック　　Vision Quest（参考書）

２　評価の観点，評価規準，評価方法

評価の観点
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度
② 表現の能力：話すこと（S），書くこと（W）
③ 理解の能力：聞くこと（L），読むこと（R）
④ 言語や文化についての知識・理解

評価対象
(a) 授業中の活動
(b) 発表
(c) 課題の提出
(d) 小テスト・定期考査

観点		箇所	評価規準	評価方法
① 関心 意欲 態度		・モデル文 ・Practice / GOAL! ・Activity for Communication	○ モデル文に関心を持ち，読もうとしている。 ○ 間違いを恐れず，積極的に表現しようとしている。 ○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	(a) (c) A―B―C
② 表現の能力	S	・Activity for Communication ・Presentation ・Discussion / Debate	○ 与えられた状況において，適切に話し，伝えることができる。 ○ 適切な発声で，プレゼンテーションを行うことができる。 ○ 自らの意見を，適切な表現を用いて伝えることができる。	(a) (b) A―B―C
	W	・Practice ・GOAL! ・Part2	○ 学んだ文法・表現を使って，文を書くことができる。 ○ 自分や与えられた課題について，文章を書くことができる。 ○ パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ○ 要約を書く手順を理解し，要約文を書くことができる。	(a) (b) (c) (d) A―B―C
②	L	・Activity for Communication ・Presentation / Discussion / Debate	○ 相手の言ったことを，正しく聞き取れる。 ○ 英文を聞き，正しい解答を選べる。 ○ 発表者や発言者の言ったことを，正しく聞き取れる。	(a) (b) (c) A―B―C
	R	・モデル文 ・Part2	○ つなぎの言葉の使い方を理解している。 ○ パラグラフの構成を理解している。 ○ 文章の要点をつかむことができる。	(a) (d) A―B―C
③ 知識 理解		・モデル文 / Build-up / Expressions / Practice / Grammar Focus	○ いろんなトピックについて，内容を理解することができる。 ○ それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し，知識として定着させている。	(a) (c) (d) A―B―C

３　学習指導計画および評価方法

● 第２学年

月	課	配当時間	学習内容	評価方法
4	Part 1　Lesson 1	2	主語の決定／見えない主語の発見／主語の it	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 2	2	主語になる名詞句／形式主語／無生物主語	①　A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
5	Lesson 3	2	自動詞と他動詞／間違えやすい自動詞と他動詞／群動詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 4	2	SVO／SVOO	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
6	Lesson 5	2	SVC／SVOC	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 6	2	使役動詞／知覚動詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
7	Lesson 7	2	直接話法と間接話法／間接話法で伝達	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 8	2	「～する」／「～している」	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
9	Lesson 9	2	「～した」／「～していた」	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 10	2	能動態と受動態／日本語との違い	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
10	Lesson 11	2	「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 12	2	義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
11	Lesson 13	2	数量を表す語句／名詞を前から修飾する語句	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 14	2	名詞を後ろから修飾する①／②	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
12	Lesson 15	2	関係代名詞／関係副詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 16	2	副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
1	Lesson 17	2	副詞節①／②	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 18	2	原級／比較級	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
2	Lesson 19	2	最上級／最上級を意味する表現	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 20	2	no＋名詞，no-で始まる代名詞／部分否定／準否定	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
※ 進度に応じて，Grammar Focus①～⑤（配当：各２時間）や Activity for Communication①～⑤（配当：各２時間）を適宜入れる。				

※ 評価対象 … (a) 授業中の活動／(b) 発表／(c) 課題の提出／(d) 小テスト・定期考査
評価配分 … ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 20% ／ ② 表現の能力 40%
③理解の能力 30% ／ ④ 言語や文化についての知識・理解 10%

● 第３学年

月	課	配当時間	学習内容	評価方法
4	Part 2　Lesson 1	2	文と文をつなぐ	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
5	Lesson 2	2	パラグラフの構成／列挙・順序	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 3	2	例示・追加	① A―B―C　② A―B―C ② A―B―C　④ A―B―C
6	Lesson 4	2	比較・対照	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 5	2	原因・理由・結果	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
7	Lesson 6	2	リーディングの要約	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 7	2	リスニングの要約	① A―B―C　② A―B―C ④ A―B―C　④ A―B―C
9 10	Part 3　Lesson 1 (Presentation)	6	プレゼンテーション： ブレインストーミング／資料を探す／ アウトラインの作成 プレゼンテーションの原稿／表現 プレゼンテーションの準備／実施 プレゼンテーションの質疑応答／発表者の評価 Practice	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
11 12	Lesson 2 (Discussion)	4	ディスカッション： ディスカッションの進め方／例 ディスカッションに役立つ表現／評価 Practice	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
1 2	Lesson 3 (Debate)	6	ディベート： ディベートの進め方 ディベートの準備 ディベートを行う上での注意点／判定／表現 Practice	① A―B―C　② A―B―C ④ A―B―C　④ A―B―C
※ 進度に応じて，Grammar Focus①～⑤（配当：各２時間）やActivity for Communication①～⑤（配当：各２時間）を適宜入れる。				

※ 評価対象 … (a) 授業中の活動／(b) 発表／(c) 課題の提出／(d) 小テスト・定期考査
評価配分 … ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 20% ／ ② 表現の能力 40%
③ 理解の能力 30% ／ ④ 言語や文化についての知識・理解 10%

教科	数学	科目	数学ⅡB	単位数	5

学年	3	科	普通科	専攻・コース	大学進学専攻

教科書	新編　数学Ⅱ（数研出版） 新編　数学B（数研出版）	副教材	基本と演習テーマⅡ＋B（数研出版）

学習到達目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分及びベクトル，数列の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
評価の観点	１関心・意欲・態度、２知識・理解、３数学的な見方や考え方、４数学的な技能を定期試験、授業態度、課題提出、ノート提出などにより総合的に評価する。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
前期	前期第1回定期試験	空間ベクトル	・空間における図形を，図や座標を利用して表すことができる。 ・座標空間において，点の座標や原点との距離が求められる。 ・空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。 ・空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ，和，差，実数倍の計算ができる。 ・座標空間の点と空間のベクトルの成分の関係について理解している。 ・ベクトルの内積を，平面から空間へ拡張して考察できる。 ・成分表示されたベクトルについて，内積を計算できる。 ・ベクトルのなす角を，内積を利用して求めることができる。 ・線分の長さ，垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。	
	前期第2回定期試験	数列 数列と一般項 等差数列と等比数列	・数列の定義，表記について理解している。 ・数の並び方からその規則性を推定して，数列の一般項を考察できる。 ・等差数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 ・等差数列の公差，一般項などを理解している。 ・初項と公差を文字で表して，条件から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 ・自然数の和，奇数の和，偶数の和などが求められる。 ・等比数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の公比，一般項などを理解している。 ・等比数列の和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。	
	前期末試験	いろいろな数列 数学的帰納法	・記号Σの意味と性質を理解し，数列の和が求められる。 ・数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ・階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。 ・初項から第n項までの和に着目して，一般項を考察できる。 ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ・漸化式の意味を理解し，具体的に項が求められる。 ・数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。 ・自然数nに関する命題の証明には，数学的帰納法が有効なことを理解している。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後期	後期第1回定期試験	センター試験数学ＩＡⅡＢ対策	数学ＩＡの学習内容で センター試験対策の問題演習を行う	
	学年末試験	センター試験数学ＩＡⅡＢ対策	数学ⅡＢの学習内容で センター試験対策の問題演習を行う	

教科	国語	科目	現代文Ｂ 古典Ｂ	単位数	5

学年	3	科	普通科	専攻・コース	大学進学専攻

教科書	筑摩書房「精選現代文Ｂ」 第一学習社『古典Ｂ』	副教材	第一「標準古典文法＆ワーク」 旺文社「古文単語３００」他

学習到達目標	①古文漢文の文法や句法、単語の知識を活用して読解する力を身につける。古典の世界を自ら味わおうとする意欲を身につける。 ②現代の評論における筆者の主張・小説における登場人物の心情を的確に読み取る。論理的な思考による書く、読む、話す、聞く能力を身につける。
評価の観点	①定期試験において知識・読解問題でどのくらい得点できるか。 ②授業、教材の予習復習、小テストにおいて、自ら進んで学習する姿勢があるか。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	【古典文法】 総復習 【古文】 説話　発心集 「叡実、路頭の病者を憐れむ事」 【漢文読解】 逸話 例「不顧後患」(疑問・詠歎)	助詞、助動詞の意味、接続、活用がわかる。 文法の確認を行うとともに、小話の面白みを理解し、古人の心情に共感を持つ。 句形と意味を理解するとともに古くからの逸話に親しんで、生きていく知恵を学ぶ。	古文単語 226～255 語彙ノート Ｐ78～89
	前期第2回定期試験	【現代文】評論 例　小林秀雄 「無常ということ」 【古文】 歴史物語　大鏡 「三舟の才」	論理的文章を論理的に捉える。 筆者の言う無常とはどのようなものかを意識する。 事件や人物にまつわるさまざまなエピソードを通じて、歴史物語の面白さに触れる。	古文単語 256～285 語彙ノート Ｐ90～101
	前期末試験	【現代文】小説 例　村上春樹 「沈黙」	時間軸にそって小説を読む。 聞き手の「僕」の役割を意識する。 作品を通して人間のあり方について考える。	古文単語 285～300 語彙ノート Ｐ102～115

		【古文】日記　蜻蛉日記 「うつろひたる菊」	夫兼家との夫婦生活に苦悩する作者、藤原道綱母の心情をの理解に努め、、歌に込められた思いを読み取る。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	【現代文】評論 清水哲郎 「死と向き合う」 実力問題 例　山崎正和 「混沌からの表現」 南木圭士 「ダイヤモンドダスト」 十訓抄 「やさしき蔵人」 十八史略 「自家薬籠中」	論理的文章を論理的に捉える。 死に対するさまざまな向き合い方に、理解を深める。筆者のいう「希望」の意味を考える。 初見の文章を読解し、問題を解く。評論文、小説、古文、漢文をローテーションして行う。時間を計って解く。残りの時間で解説を行う。毎日の得点を表に書かせ、自分の取り組みを振り返る。	
	後期第2回定期試験	センター試験形式の実力問題	センター試験に向けて、過去問題を解く。評論文、小説、古文、漢文をローテーションして行う。時間を計って解く。残りの時間で解説を行う。毎日の授業の得点を表に書かせ、自分の取り組みを振り返る。	センター試験の過去問、もしくはセンター形式の問題を使用。
	学年末試験	※高校三年生は 1 月末で通常授業が終了します。		